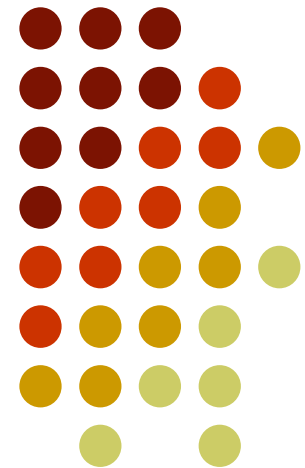


行田市都市計画マスタープラン策定

第3回市民まちづくり会議

平成24年1月29日(日)

13:30~16:30



市民まちづくり会議の開催について



第1回
11/27(日)

まちづくりの現状と
課題を整理しよう

- ・市の現状についての報告
- ・まちづくりの現状と課題について意見交換

第2回
12/18(日)

まちづくりの方向性
を考えよう

- ・まちづくりの課題の確認
- ・課題解決に向けたまちづくりの方向性の検討

第3回
1/29(日)

まちづくり方策を
考えよう

- ・まちづくりの方向性の確認
- ・まちづくりを進めるための方策の検討

第4回
2/26(日)

テーマ別まちづくりの
市民案をまとめよう

- ・これまでの検討成果の振り返り
- ・市民ができる取組や重点的な取組の検討

テーマ別まちづくりの市民案として提出

これまでの検討の振り返り



第1回では、4つのテーマグループに分かれて、「良いところ、残したいもの」「悪いところ、改善したいもの」について、意見を出し合いました。



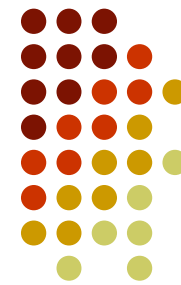
第2回では、各分野の現状と課題を確認し、課題に対するまちづくりの方向性について話し合いました。



第3回では、まちづくりの方向性を確認し、取り組みアイデア(方策)について検討します。

第2回グループワーク結果

住まいと暮らし



分野

課題

主なまちづくりの方向性

防災

水害や地震、火災に対して、より強いまちづくりが必要。

- 災害に強いまちのあり方を検討する。
- 災害時の体制を強化する。

住環境

良好な住宅地を保全するための取組みが必要。

- 良好な住環境を保全・維持するためのルールづくりを進める。
- 災害時に配慮した安全な住宅地をつくる。



分野

課題

主なまちづくりの方向性

緑
公園

地域の公園のあり方や維持管理について、見直しが必要。

- 屋敷林などのまとまった緑を保全・推進する。
- 公園や街路樹の維持管理のあり方を見直す。

美化

美化活動や維持管理の取り組み、体制整備が必要。

- 地域が主体となったクリーン活動を継続する。

コミュ
ニティ

地域で支え合うコミュニティの維持に向けた取り組みが必要。

- 地域で気軽に集まれる場所を整備・充実する。

第2回グループワーク結果

暮らしを支える



分野

課題

主なまちづくりの方向性

道路

歩行者や自転車利用者が、気持ちよく安心して道路を利用できる道づくりが必要。

- 歩いて暮らせるみちづくりを推進する。
- 歩きたくなる、人に優しいみちづくりを推進する。

広域的な交通利便性を向上させるための道路計画が必要。

- 南北方向道路を充実させる。
- 案内板等の整備により利用者の利便性を向上させる。

道路や街路樹の適切な維持管理が必要。

- 市民と一体となった「みちを守る」仕組みづくりを進める



分野

課題

主なまちづくりの方向性

公共交通

地域住民の利便性を高めるとともに、多くの人に利用されるバス運行のあり方の検討が必要。

- 地域住民の利便性を高めるバス路線ルートを見直す。
- 高齢者や観光客に配慮した循環バスのルート設定を検討する。

インフラ

地域住民が快適に暮らせるための上下水道や都市ガスの整備・充実が必要。

- 上水道施設の耐震化を推進する。
- 下水道整備を推進し、下水道普及率を向上させる。

第2回グループワーク結果 魅力を高める



分野

課題

主なまちづくりの方向性

地域資源

多様な地域資源を、適切に維持管理しながら、活用していくことが必要。

- 自然環境を保全・活用する。
- 歴史資源を掘り起こし、保全する。
- 維持管理や活用にあたって、ボランティアを活用する。

道路

地域資源をつなぐネットワークの整備が必要。

- 地域資源をつなぐルートを設定する。
- 案内板を充実させる。

自転車で回れるまちづくりの推進が必要。

- 自転車で回れるまちづくりに向けた環境整備を進める。



分野

課題

主なまちづくりの方向性

レクリ
エーション

市民が楽しめる公園や
緑道、サイクリングコー
ス等の整備が必要。

- 公園・緑道等を気持ちよく
利用できるよう維持管理する。
- 資源(拠点)を結び、アクセ
スをわかりやすくする。

街中でゆっくりと過ごす
ことができるスペース
の充実が必要。

- ホッとできる場を整備する。
- 行田らしさを生かしたおも
てなしをできる環境を整える。

情報
発信

地域資源に関する情
報が的確に伝えられる
ような情報発信の工夫
が必要。

- 情報発信の体制づくりや
発信手法を見直し、改善する。
- 市民一人ひとりが行田市
を宣伝できるようになる。

第2回グループワーク結果

賑わいをつくる



分野

課題

主なまちづくりの方向性



中心部

市中心部の位置づけ
やあり方についての検討が必要。

商店街の活気と賑わい
を取り戻すための取組みが必要。

●歩いて暮らせる、高齢者に
やさしいまちをつくる。

●商店街の差別化による活
性化を図る。

●商店街の再編・集約を図
る。

●人が集まる場所を創出す
る。

●商店街のPRを推進する。



分野

課題

主なまちづくりの方向性

JR
行田駅

JR行田駅周辺の開発
推進による拠点づくり
が必要。

- 個別計画に基づき、戦略的に開発を推進する。
- 人口流出に歯止めをかけるための施策を充実する。

観光

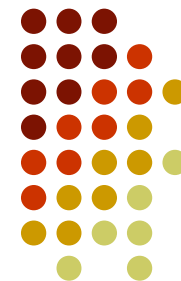
多くの人を訪れるまち
にするための取組みが
必要。

- 観光客の視点から、観光施策を見直し、必要な取組みを講じる。
- 行田ブランドを創出する。

観光客が行田市をゆっ
くり楽しむことができる
ような、環境整備が必
要。

- 観光客が訪れたくなる施設・環境を整備する。
- 分かりやすい案内やガイドを充実させる。

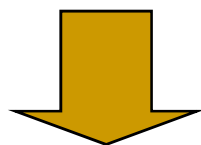
本日(第3回市民まちづくり会議)の内容について



■グループワーク①

「まちづくりの方向性を確認しよう」

- 整理したまちづくりの方向性について、課題を解決する方向性として良いかどうか確認します。
- 補足・修正すべき点がないかどうか話し合います。



■グループワーク②

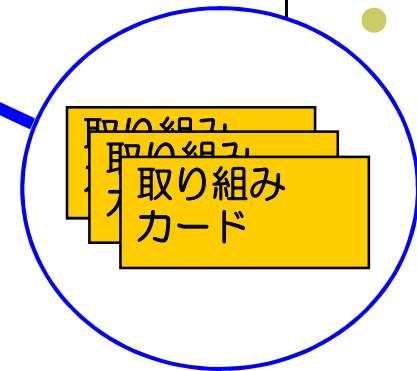
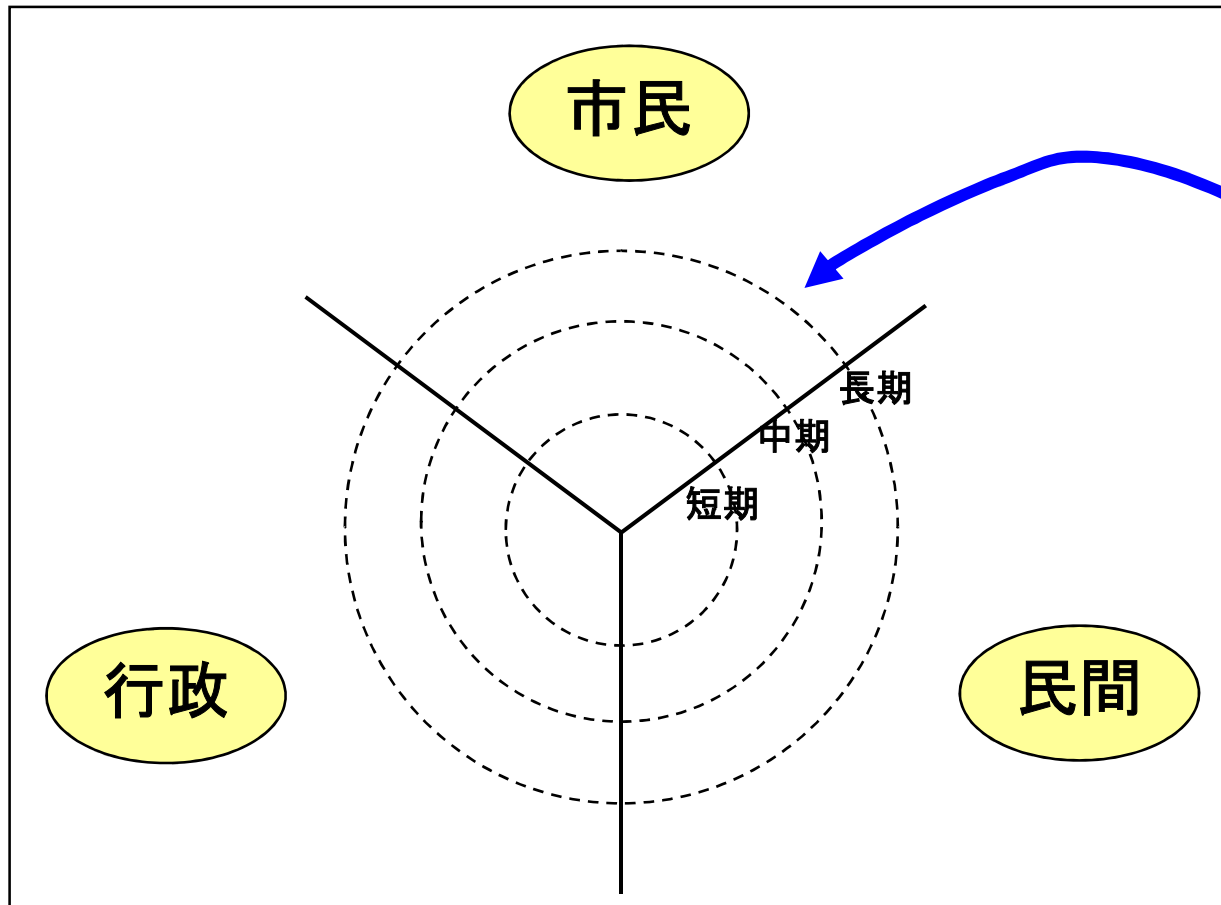
「まちづくりを進めるための

方策を考えよう」



- グループワーク①で確認した「まちづくりの方向性」に対して、取り組みアイデアの充実化を行います。
- 取り組みアイデアについて、役割分担（行政・市民・民間）や実施時期を検討します。

グループワーク②の作業イメージ



- 実施時期
- 短期: ~5年程度
- 中期: 5~10年程度
- 長期: 10~20年程度

最後に、グループワークの内容を共有するために
成果発表を行います。